

第13回 新進演奏家 コンサート



ヴァイオリン
清水 麗楽



クラリネット
滑川 敬一



ヴァイオリン
福場 桜子

2025 **9/26** FRI

18:00〈開場〉 18:45〈開演〉

全指定席

入場料 1,000円

※未就学児のお子さまの同伴・入場は
ご遠慮ください。

プログラム

モーツァルト

ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219「トルコ風」

〈清水 麗楽〉

モーツァルト

クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

〈滑川 敬一〉

メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

〈福場 桜子〉

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

指揮／小松 長生

セントラル愛知交響楽団
桂冠指揮者



©五味明憲

名古屋市青少年文化センター

アートピアホール

名古屋市中区栄3丁目18-1 ナディアパーク11F

交通アクセス

地下鉄東山線・名城線「栄」下車 南へ徒歩7分

地下鉄名城線「矢場町」下車 5・6番出口より西へ徒歩5分

お問い合わせ／チケット取扱い

山田貞夫音楽財団事務局 ☎ 052-533-6708

主催



公益財団法人
山田貞夫音楽財団



小松 長生 Chosei Komatsu

指揮 *Conductor*

福井県生まれ。東京芸大附属音楽高校入学辞退後、東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。バッファロー管エクソン派遣指揮者、ボルティモア響アソシエート、キッチンナー・ウォーター交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、リビウ国立歌劇場 首席客演指揮者、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、東京フィル正指揮者等を経て、現在コスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団桂冠指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ポリショイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、『NHKららクラシック』、『題名のない音楽会』、『東急ジルベスターコンサート』、TBS『砂の器』(千住明 作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタ・レクサス用マーク・レビンソン搭載10周年記念CD(新日本フィル)などを指揮。自作の『新福井県民歌』を御前指揮(2018年9月)。著書に「リーダーシップは『第九』に学ぶ」(日本経済新聞 出版社)他。音楽芸術学博士。



清水 麗楽 Urara Shimizu

ヴァイオリン *Violin*

愛知県春日井市出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業。愛知県立芸術大学大学院博士前期課程を首席修了。併せて神戸財団賞を受賞。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール in Tokyo 2025 室内楽部門 YouTube ビデオスタイル第3位。これまでに館奈緒、森下陽子、沼田園子、島田真千子の各氏に師事。2025年7月よりセントラル愛知交響楽団ヴァイオリン奏者。



滑川 敬一 Keiichi Namekawa

クラリネット *Clarinet*

高知県出身。愛知県立芸術大学を卒業後、同大学大学院博士前期課程を修了。これまでに、交流の響き2018 in かわさき、第53回・第54回愛知県立芸術大学優秀学生による音楽学部定期演奏会、第17回同大学大学院優秀学生による修了演奏会などに出演。Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート2022、室内楽の楽しみ2022・2023、アフィニス夏の音楽祭かがわ2024などにも参加。第34回日本木管コンクール入選。公益財団法人よんでん文化振興財団奨学生。大学院修了時に神戸財団賞および優秀学生賞を受賞。クラリネットをブルックス信雄トーン氏に師事。現在、セントラル愛知交響楽団クラリネット奏者。



福場 桜子 Sakurako Fukuba

ヴァイオリン *Violin*

愛知県立明和高等学校音楽科、東京藝術大学器楽科を卒業。第74回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位、全国大会第2位。第39回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位。第31回ブルクハルト国際音楽コンクール第1位。第24回日本演奏家コンクール第2位。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIX受講。名古屋フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに野口千代光、徳永二男、堀正文、松田理奈、島田真千子の各氏に師事。

・ セントラル愛知交響楽団 ・

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクター(任期2年)に迎えており、2025年度は今木智彦、境田栄斗の両名が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。